

<b>イマゾスルフロン・カフェンストロール・ダイムロン粒剤</b> <b>クラッシュ EX ジャンボ</b>	<b>取扱メーカー：</b> サンケイ＊、住友化学 <b>原体メーカー：</b> 住友化学、エス・ディー・エス、 エス・ディー・エス
<b>成分：</b> イマゾスルフロン〔スルホニルウレア系〕……………1.8% カフェンストロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕……………4.2% ダイムロン〔尿素系〕……………20.0%	<b>性状：</b> 類白色細粒，水溶性パック入り，1パック50g <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

●水田の畦畔などから10a当りパック10個（1パック50g）を手で投げ込むだけで散布が終了できる初期一発処理除草剤である。

●水溶性のKC1（塩化カリウム）を担体に使用した粒状タイプの自己拡散型除草剤を，水溶性フィルムでパックしたジャンボ剤で，散布後の田面水中での拡散性に優れている。

●3つの成分を合理的に配合した製剤である。

●水田一年生雑草から多年生雑草まで高い効果を示す。また，難防除雑草であるクログワイ，オモダカ，シズイヤアオミドロ，表層はく離に対して効果も期待できる。

●残効期間が長く，移植後3日からノビエ2葉期までのいずれの時期に使用しても高い効果が得られる。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●共通注意事項の5．水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●散布前に湛水深を5～6cmにし，水の出入りをしっかり止め，10a当り10パックの割合で，畦畔から均等に水田内に投げ込む。

●パックは破らず，そのまま軽く下手投げで投げ込む。

●藻類やウキクサが発生する前に散布する。

●田植後3日から次の時期までに散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	2葉期まで
ヘラオモダカ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
アオミドロ 表層はく離	発生前

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5．水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●いぐさ栽培予定田では使用しない。

●適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。隣接田で使用する場合は十分注意する。

●藻類又は表層はく離の発生しやすい水田では，有効な剤との組み合わせで使用する。

### 【安全対策上の注意】……………

●水溶性フィルムが破袋した場合は，眼に入らぬよう注意する。

●濡れた手で触らない。

# 【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ	砂壤土 ～埴土	移植後 3 ～ 移植後 15 日 (ノビエ 2 葉期まで)	小包装 (パック) 10 個 (500 g)	水田に小包装 (パック) のま ま投げ入れる。	北海道	1 回 ※
	ミズガヤツリ (北海道を除く)	壤土～ 埴土	移植後 3 ～ 移植後 12 日 (ノビエ 2 葉期まで)			東北	
	ヘラオモダカ (北海道, 北陸)	砂壤土 ～埴土	移植後 3 ～ 移植後 10 日 (ノビエ 2 葉期まで)			北陸	
	ヒルムシロ (北陸を除く) セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離					関東以西の普 通期及び早期 栽培地帯	

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※カフェンストロールを含む農薬の総使用回数 : 1 回

※ダイムロンを含む農薬の総使用回数 : 3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内, 本田では 2 回以内)